



「運動会と学級をつなぐ取組み」ということで取り組んだことは、運動会運営に児童考案種目を取り入れた実践です。

※この実践は10年くらい前に一学年20名弱の学校で、6年生を担当した時に取り組んだものです。

そこでは、それまで全校競技というものがあって、体育主任が競技内容を考えていました。

その年、小学校最後の運動会に向けて何か自分たちにできることはないか、ということ話し合いました。その中で「全校競技を自分たちで考えたい」という意見が出されたところから、この実践が始まりました。

子どもたちの思いを職員会で説明し、無事了承を得ることができましたので、まず、学級に「全校競技実行委員会」を発足させました。その後の活動の流れは、次のとおりでした。

- (1) 全校競技実行委員会で競技案をつくり、学級会で話し合う
- (2) 代表委員会に提案し、検討する
- (3) 職員会で説明し、先生方からの質問に答える
- (4) 全校競技実行委員会で練習計画をつくる
- (5) 縦割り班対抗の競技ということで、縦割り班で練習を行う
- (6) 全校練習の時間に一度練習をし、反省点を出してもらう
- (7) 反省点をもとに修正案をつくり、全校児童に知らせる
- (8) 全校練習の時間に、入退場も含めて練習をする
- (9) 本番で行う

子どもたちが最も苦労したのは、競技案づくりでした。1年生も楽しんで参加できるようにするにはどうしたらよいかということに知恵を出し合い、最終的に「縦割り班対抗競技」というものを考え出したのです。

縦割り班での競技にしたことで、6年生一人ひとりが自分の所属する班の低学年のことを本気になってお世話することができました。

---

### 3 第5回「希望の会」学習会in福岡に参加して

山口市立平川小学校 梶田崇晴

---

9月1日、福岡で上記の会が行われました。特別活動「希望の会」が、いよいよ関東地方を飛び出したのです。

もうすぐ夏休みも終わりというのに、なんと120名もの先生方の参加があったということです。

会場は、参加者の熱気で、体感温度が何度か上がっていたんじゃないかと思っただくらいでした。わずか半日の学習会だったのですが、ものすごく充実していて、ものすごく密度の濃い感じがしました。

夏休みの最後に、こんな素敵な学習会を開いていただいた福岡の先生方、希望の会の事務局の先生方に感謝します。

九州は（福岡）熱いなあ、というのが、帰りの新幹線の中で思ったことです。この熱さを、山口にも伝えたいなあという思いが、ますます強くなっていきました。

このたびの学習会では、シンポジストという大役で参加させていただきました。シンポジストという役は、8月16日に熊本で行われたワークショップ以来2回目だったのですが、いやあ～しびれましたね。

研究会のテーマは「社会に参画する力と自治的能力の育成」というもので、このたびの教育課程の編成のキーワードになっているものだそうです。

シンポジウムでは、テーマについていろいろと考えては行ったのですが、調査官の思いで、ただシンポジストにしゃべらせるだけじゃリアリティがない、ということで、調査官からの質問に答える形式で行われました。おかげで、考えていったことのほとんどが使えなかったのですが、逆にその場で考えることで自分なりに精選してしゃべることができたように思いました。

また時間の関係で、すべての発言を「短くまとめて」「一言で言って」と要求されたことが、なかなかつらかったのですが、短くまとめるということで、自分の言いたいことは何なのかということを経り込んで考えることができました。話しながら、自分ってこういうことを大事だと思っていたのか…と自分自身を振り返ることができました。

そんなわけで、シンポジストとしての役割を果たすことができたのか？ それについてはやや疑問が残るのですが、自分なりにはものすごく満足いったものでした。

学習会の後の懇親会も盛り上がりましたね。いろんな人たちと話ができて、とっても楽しかったです。

たくさん先生方が、このメールマガジンを読んでくださっていることもわかりました。若い先生方からは、もっともっとたくさん事例を知りたいという要望もありました。

このメールマガジンに掲載する実践事例を「希望の会」メーリングリストで公募してみようかなとも思いました。

特活やっている人たちって、本当に楽しいことが好きだし、人間が好きなんだなあと思えて思いました。

次回は、12月に新潟で開催されるとのこと。可能であれば参加したいですね。

-----  
4 メルマガ編集部からのお知らせ  
-----

◆次号の予告◆◇◆

第44号は9月中旬ごろ発行予定です。

次号は、係活動で意欲を高める工夫についてお送りする予定です。

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は177名です。もっともっとメルマガ仲間が増えるといいなと思っています。お知り合いの方にこのメルマガを紹介してください。

登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆実践投稿のお願い◆◇◆

読者のみなさん、みなさんが取り組まれている情報を送ってください。特活の実践を広げ、共有していきましょう。

本メールマガジンでは、今後、以下のようなことについての情報を交流し合いたいと考えています。どんな小さな事でもけっこうです。情報をお待ちしています。

<実践投稿のヒント>

9月頃 2学期スタートの学級経営・運動会と学級をつなぐ取組み

10月頃 意欲的に行事に取り組む手だて

11月頃 学級目標の見直し・音楽会と学級づくり

12月頃 お楽しみ会の在り方・年賀状と学級づくり

1月頃 新年の誓い・新たな気持ちを学級づくりに生かす

2月頃 文集づくり・6年生を送る会のシナリオ

3月頃 お別れ式の持ち方・先生の通知表

◆感想をお聞かせください◆◇◆

メールマガジンの感想をお聞かせください。「こんな記事がよかった」「もっと詳しく知りたい」のほか「こういう情報を載せてほしい」ということをお聞かせください。

=====  
山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見はsugi-net@c-able.ne.jpまで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴（山口市立平川小）

津村元文（防府市立西浦小）

能勢雅子（山陽小野田市立高千帆小）

吉田哲朗（山口大学附属山口小）

=====